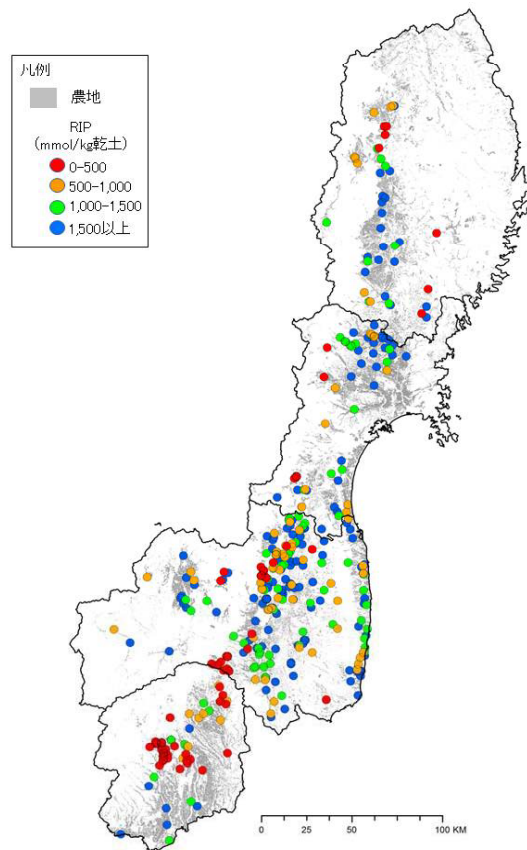


土壌の放射性セシウム固定力の分布の把握

○RIPが1,000 mmol/kg未満の土壌による放射性セシウム固定力の比較的弱い地点が岩手県北部、福島県中央部から栃木県にかけて点在していました。

○土壌タイプ別では、多腐植質黒ボク土で特に低く、バーミキュライトやイライトといった雲母由来の粘土鉱物を含む土壌で高い傾向がありました。



RIPの分布図

土壌グループ毎のRIP
平均値の比較

土壌グループ名	Tukey-Kramer の検定*	平均RIP (mmol/kg)	サンプル数
多腐植質_黒ボク土	A	399	46
腐植質_黒ボク土	AB	784	43
非腐植質_黒ボク土	AB	864	15
腐植質_低地土	BC	1,360	32
非腐植質_低地土	C	1,670	131
腐植質_台地山地土	BCD	1,830	7
非腐植質_台地山地土	D	2,360	22

* : 異符号間で有意差あり

非腐植質 ; 炭素含量<3%

腐植質 ; 3%≤炭素含量<6%

多腐植質 ; 炭素含量≥6%

粘土鉱物組成毎のRIPの比較

土壌区分	含有粘土鉱物			Tukey-Kramer の検定*	平均RIP (mmol/kg)	サンプル数
	バーミキュライト	イライト	スメクタイト			
I	—	—	—	A	583	43
II	+	—	±	AB	1,270	19
III	—	—	+	B	1,380	22
IV	—	+	±	BC	1,640	93
V	+	+	±	C	2,640	69

* : 異符号間で有意差あり

+: 検出、—: 不検出、±: 検出・不検出を含む

成果の活用

	成果の活用
大豆・そばの吸収抑制対策	得られた知見を基に、農林水産省では、3月に大豆・そばについて吸収抑制対策の考え方を公表し、生産現場において25年作に向けた対策の実施・技術指導に活用。 (大豆) http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/pdf/daizu.pdf (そば) http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/pdf/soba_youin.pdf
牧草の吸収抑制対策	得られた知見を基に、4月に牧草地の除染等における留意事項を各県に示し、技術指導に活用。
粳すり機の交差汚染の防止対策	得られた知見を基に、25年作の収穫に間に合うよう、「米の収穫・乾燥・調製工程における交差汚染防止ガイドライン」を公表し、生産現場での指導に活用。 http://www.maff.go.jp/j/kanbo/joho/saigai/pdf/kome_130709.pdf